

漁海況情報

第566号(令和元年8月13日発行)

発行:山形県水産試験場 〒997-1204 鶴岡市加茂字大崩594
TEL0235(33)3150 FAX0235(33)0379
ホームページ: <http://www.pref.yamagata.jp/ou/norinsuisan/147010/>

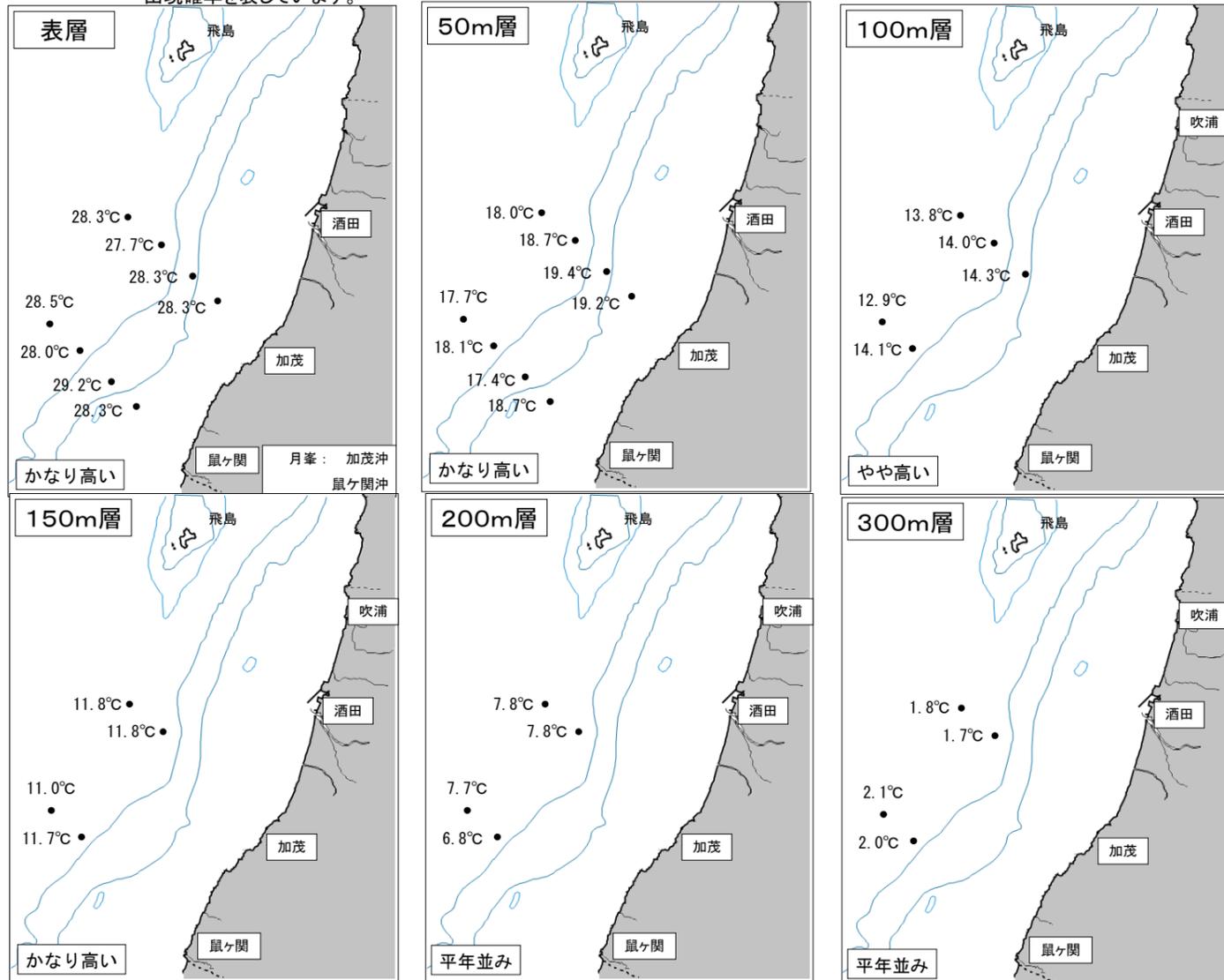
- 庄内総合支庁水産振興課「月峯」は、8月5日に沿岸の水温観測を実施しました。その結果水温の評価は、表層、50m層および150m層は「かなり高い」、100m層は「やや高い」、200m層および300m層は「平年並み」でした。
- 7月の地先水温は、鶴岡市加茂(水産試験場)、鶴岡市三瀬(栽培漁業センター)ともに「平年並み」でした。
- 国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、「2019年度第2回日本海スルメイカ長期漁況予報(8月~12月)」を発表しました。
 - ・今期の全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。
 - ・本州北部日本海では近年同様、漁場が形成されにくい。
 - ・沖合域では前年および近年平均を下回る。漁場は、北海道西沖で8月~11月、大和堆周辺海域で11月~12月に形成される。
- 8月5日現在、本件沿岸域では大型クラゲは確認されていませんが、九州北西部から能登半島西部までの日本海沿岸域に大型クラゲが出現しています。8月下旬には本県沖に来遊する予測もありますので、警戒してください。
- 最上丸の調査や、6月までの底びき網漁業の操業で、サルパが大量に入網しているようです。9月以降の操業にご注意ください。

沿岸25海里定点各層別の平均水温(8月上旬観測値)

単位:℃

	表層	50m層	100m層	150m層	200m層	300m層
本年	28.3	18.4	13.8	11.6	7.5	1.9
前年差	+1.0	+1.0	-0.1	+1.2	+1.7	+0.5
平年差	+2.6	+1.4	+1.3	+1.3	+0.4	+0.1
評価	かなり高い	かなり高い	やや高い	かなり高い	平年並み	平年並み
(前月評価)	(平年並み)	(やや高い)	(やや高い)	(やや高い)	(やや高い)	(平年並み)

評価の表現:「平年並み」は約2年に1回、「やや」は約4年に1回、「かなり」は約10年に1回、「はなはだ」は約20年以上に1回の出現確率を表しています。



地先平均水温(7月)

単位:℃

場所	水温	前年差	平年差	評価
水産試験場(鶴岡市加茂港内)	23.8	-1.6	+0.4	平年並み
栽培漁業センター(鶴岡市三瀬地先)	22.7	-1.0	+0.3	平年並み

第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報

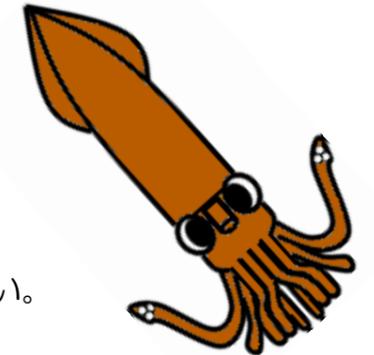
国立研究開発法人 水産研究・教育機構は、7月26日に、「2019年度 第2回 日本海スルメイカ長期漁況予報」を発表しました。

- ・今後の見通し(令和元年8月~12月)

○今期の全体の来遊量
:前年および近年平均を下回る。

- 本州北部日本海側
 - ・来遊量・漁況:前年および近年平均を下回る。
 - ・漁期・漁場:11月までは近年同様、漁場が形成されにくい。

- 沖合域
 - ・来遊量・漁況:前年および近年平均を下回る。
 - ・漁期・漁場:北海道西沖で8月~11月、大和堆周辺海域で11月~12月に漁場が形成される。



大型クラゲ情報

- 国立研究開発法人 水産研究・教育機構からの「大型クラゲの出現情報」によると、九州北西部から能登半島西部にかけて、大型クラゲが大量に出現しています。特に山陰の一部の定置網では1000個体を超える入網が発生しているとのこと。
- 山陰地方における出現は徐々に弱まってくると考えられますが、対馬暖流の沖合分枝流に乗った大型クラゲが沖合から接近してくる可能性があります。
- 山形県でも、漁業試験調査船『最上丸』や漁業監視調査船『月峯』で大型クラゲの監視を行っています。8月5日現在、本件沿岸域では大型クラゲは確認されていません。
- 水産試験場では引き続き、大型クラゲのモニタリング・情報収集を実施していきます。

サルパ情報

- 本県沿岸の6月までの底びき網に、サルパの入網がありました。また、最上丸による7月の沖合天然礁での底びき網試験操業や、加茂沖での餌料曳き網にも、同様にサルパの入網がありました。近隣各県の調査等でも大量に確認されているとのこと。
- サルパは、平成27年の秋から底びき網に大量に入網し、多大な被害をもたらしました。その際に入網したサルパは「オオサルパ」という種類でしたが、今年多く出現しているのは「モモイロサルパ」という比較的小型の種類です。
- 水産試験場では、サルパの入網に関する情報収集および提供を実施する予定です。ご協力よろしくお願いします。

7月の漁況

○延べ操業隻数は2,911隻、総漁獲量は300トンで前年比58%と、前年を下回りました。
 ○採貝藻漁業の漁獲量は44トンで前年比90%でした。サザエ、イガイおよびイギスは前年を上回り、アワビおよびモズクは前年を大きく下回りました。イワガキは前年並みでした。(イワガキは「その他漁業」を含む)
 ○定置網漁業の漁獲量は8.7トンで前年比65%でした。アジは前年を上回り、ブリ類、ウマヅラおよびトビウオは前年を下回りました。
 ○はえなわ漁業の漁獲量は5.9トンで前年比39%でした。タイ類、ブリ類、クロマグロ、クロソイおよびサワラは前年を下回りました。
 ○その他の漁業では、さし網漁業のネジリ、あまだいさし網漁業のアマダイおよびかご漁業のバイ類は前年を上回り、いか一本釣漁業と船凍いか釣漁業のスルメイカおよびさし網漁業のサザエとキスは前年を下回りました。

* 前年比は平成26～30年までの平均値と比較した値です。
 * 前年比85%～115%は「前年並み」、前年比84%以下は「前年を下回る」、前年比116%以上は「前年を上回る」としました。
 * 小数点以下を四捨五入して表示しているため、合計が合わない場合があります。

全漁業支所別漁獲量

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	205	441	399	197	375	362	206	726	2,911	87%	88%
漁獲量	12,761	12,495	96,583	82,144	18,572	19,626	4,244	54,034	300,460	61%	58%
前年比	104%	44%	36%	112%	69%	82%	85%	101%	62%		
前年比	85%	35%	32%	112%	76%	84%	68%	147%	58%		

採貝藻漁業

支所	吹浦	飛鳥	酒田	加茂	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	142	204	68	73	148	96	131	359	1,221	93%	97%
イワガキ	10,282		7,947	1,307	3,449	774	924	4,058	28,741	119%	95%
アワビ	61		5	2	6	45	8	14	141	95%	20%
サザエ	105	3,253	87	901	1,729	896	980	3,893	11,843	98%	125%
イガイ					184	134	508	723	1,548	157%	200%
イギス				46	261		24	361	692	70%	139%
モズク		75			36	101	140		353	11%	10%
その他	84		2	272	117	7	22	110	615		
計	10,532	3,328	8,042	2,527	5,782	1,958	2,607	9,158	43,933	101%	90%
前年比	106%	45%	104%	82%	155%	58%	209%	130%	101%		
前年比	89%	45%	75%	117%	131%	62%	129%	130%	90%		

※当場の採貝藻漁業の隻数と漁獲量は、その他の漁業のイワガキを加えた値です。

定置網漁業

支所	加茂	由良	豊浦	念珠関※	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	6	27	21	0	54	93%	86%
ブリ類	139	539	1,456		2,134	52%	50%
アジ	361	3,057			3,417	147%	149%
ウマヅラ	4	143	56		203	50%	40%
トビウオ	56	69	200		324	8%	9%
その他	263	1,550	784		2,597		
計	823	5,357	2,495	0	8,675	68%	65%
前年比	26%	103%	92%	0%	68%		
前年比	41%	88%	64%	0%	65%		

※今年度7月の鼠ヶ関での水揚げはありませんでした。

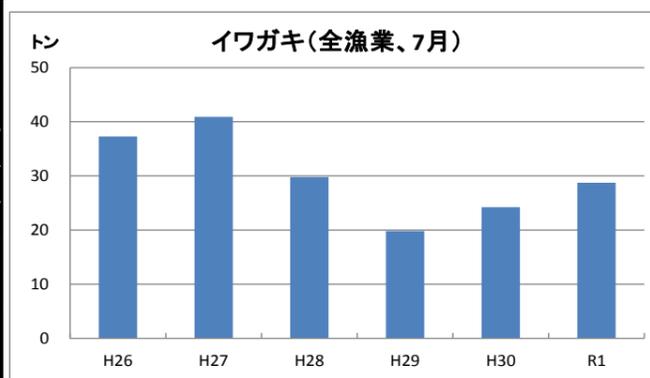
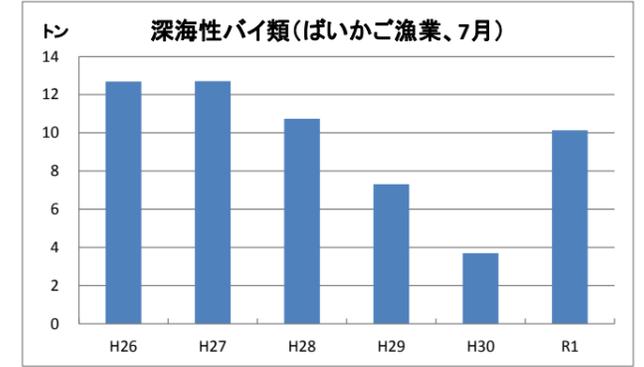
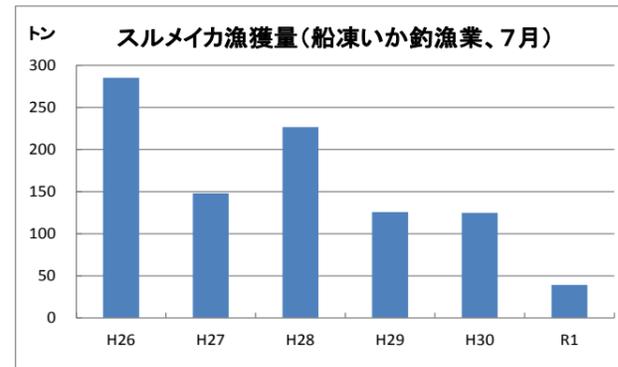
はえなわ漁業

支所	飛鳥	酒田	由良	豊浦	温海	念珠関	計	前年比	前年比
延べ操業隻数	13	13	32	32	52	106	252	79%	80%
タイ類	6	50	111	52	195	257	673	34%	23%
ブリ類		12	3		82	46	143	46%	19%
クロマグロ(30kg未満)	570		37	27			634	17%	24%
アカムツ(ノドグロ)	13	44	61	71	91	252	541	58%	99%
クロソイ	445	4	2	6	5	3	464	25%	32%
サワラ			24		50	457	531	4352%	38%
その他	281	122	494	338	572	1,103	2,955		
計	1,315	232	732	494	994	2,118	5,941	43%	39%
前年比	47%	15%	70%	39%	33%	59%	43%		
前年比	62%	16%	77%	32%	26%	42%	39%		

その他の漁業

漁業種類	いか一本釣漁業	船凍いか釣漁業	さし網漁業			あまだいさし網漁業	ごち網漁業	一本釣漁業	かご漁業	ばいかご漁業
延べ操業隻数	96	4	540			45	120	207	130	20
総漁獲量(kg)			14,811			3,800	31,354	4,408	10,624	
前年比			130%			65%	63%	59%	152%	
前年比			120%			60%	85%	62%	193%	
対象魚種	スルメイカ	スルメイカ	ネジリ	サザエ	キス	アマダイ	タイ類	メバル類(※)	バイ類	深海性バイ類
漁獲量(kg)	44,582	39,256	1,325	4,040	650	3,112	28,291	600	10,594	10,174
前年比	30%	31%	155%	71%	120%	145%	68%	85%	152%	275%
前年比	39%	22%	117%	82%	66%	127%	100%	96%	194%	107%

※ハツメ(アカラ)を含む



最上丸の調査予定(8月中旬～8月下旬)

- ・漁獲加入量調査、稚魚調査(ヒラメ、マダイ、マガレイ)を行います。
- ・海洋観測を行います。

みなさま、調査への御理解・御協力
 よろしくお願ひします。

